

ハクロバイ

種子植物・バラ目
バラ科

Dasiphora fruticosa (L.) Rydb. var. *mandshurica* (Maxim.)

今回評価	絶滅危惧IA類
環境省(2020)	指定なし
環境省(2014)	指定なし

評価理由	2021年に1地点でごく少数の個体が発見された。特殊な立地に依存することに加え、園芸採取の対象となり、絶滅の危険性は高いと考えられる。
------	---

適用基準	定量D
------	-----

主な危険要因	特殊分布、園芸採取 特殊な岩石地に生育し、生育可能な立地が局限される。さらに、花が美しく、園芸採取が懸念される。
--------	---

総産地数	1
現存	1
不明	0
絶滅	0

特記事項	キンロバイ(<i>Dasiphora fruticosa</i> (L.) Rydb. var. <i>fruticosa</i> :絶滅危惧IB類)の変種であるが、生育環境は分布は別種と言ってよいほど異なる。
------	--

県内の分布状況	
利根	
吾妻	
中部	
西部	○
東部	

ヒツバイチヤクソウ

種子植物・ツツジ目
ツツジ科

Pyrola japonica Klenze var. *subaphylla* (Maxim.) Andres

今回評価	絶滅危惧IA類
環境省(2020)	指定なし
環境省(2014)	指定なし

評価理由	2地点で10個体未満が確認され、このほか1地点での記録がある。もともと少ないと考えられる上に、栄養の多くを菌類に依存しているため、脆弱性が高いと考えられる。
------	--

適用基準	定量D
------	-----

主な危険要因	自然遷移、管理放棄 栄養の多くを菌類に依存していると考えられ、遷移によって林床の状態の変化やササ類の繁茂により生育できなくなると考えられる。
--------	---

総産地数	3
現存	2
不明	1
絶滅	0

特記事項	従来はイチヤクソウ <i>Pyrola japonica</i> Klenze ex Alef. var. <i>japonica</i> の品種として扱われてきた。DNAによる解析の結果、独立した種とする見解もある*。十分な認識があるとは言いがたい分類群のため、3地点以外にも生育している可能性はあるが、他県の例からも少ない種である可能性が高い。
------	--

県内の分布状況	
利根	○
吾妻	○
中部	
西部	
東部	

モミジハグマ

種子植物・キク目
キク科

Ainsliaea acerifolia Sch.Bip. var. *acerifolia*

今回評価	絶滅危惧IA類
環境省(2014)	指定なし
環境省(2007)	指定なし

評価理由	もともと分布域が狭いことに加えて、ニホンジカによる食害のため急激に衰退した。現在は開花個体の確認が難しいほどに減少し、健全な個体群はないと考えられる。
------	---

適用基準	定量A C
------	-------

主な危険要因	動物食害(シカ) 分布域はニホンジカの生息密度が高く、林床植生の衰退が著しい。
--------	--

総産地数	2
現存	1
不明	1
絶滅	0

特記事項	もともと県内の分布域は限られていたが、1地点にまとまって生えるため、希少な種の認識が低かった。また、県内に普通に分布する変種オクモミジハグマ <i>Ainsliaea acerifolia</i> Sch.Bip. var. <i>subapoda</i> Nakaiとの混同もあり、従来注目されてこなかったことも、絶滅危惧種としての認識が遅れた原因であると考えられる。
------	---

県内の分布状況	
利根	
吾妻	
中部	○
西部	
東部	

* Kohtaroh Shutoh, Shingo Kaneko, Takahide Kurosawa (2017) Taxonomy and Distribution of *Pyrola subaphylla* Maxim. (Pyroleae, Ericaceae). Acta Phytotax. Geobot. 68: 181-192.